

田中康夫氏「人口政府予測は非現実的」

田中康夫元長野県知事「写真」
は、いぜん国を憂えて警鐘を鳴らしている。14日、経済人を前に講演した。



「昨年6月24日に政府が閣議決定した、いわゆる骨太方針に何とあるか。『従来の少子化対策の枠組みにとらわれず、トレンドを凌いでいくことで、50年後にも1億人程度の安定的な人口構造を保持することができる』と」
田中氏は続けた。

「これは、その4カ月前に経済財政諮問会議が出した『移民を年20万人ずつ受け入れた場合、1億1000万人程度を維持』との資料が根拠になっている。移民を入れれば国柄が変わる。『日本を取り戻す』という安倍晋三政権は、日本を取り戻さずしてはいるのではないか」

さらに田中氏が指摘した。「人口1億1000万人レベルの維持は、政府資料によると、移民受け入れと、出生率2・07を条件にしている。いま欧州で一番高い出生率はフランスの2・01。日本は現在、1・43。机上の空論ではないか」

鈴木棟一の風雲永田町

5137

「人口1億1000万人レベルの維持は、政府資料によると、移民受け入れと、出生率2・07を条件にしている。いま欧州で一番高い出生率はフランスの2・01。日本は現在、1・43。机上の空論ではないか」

東、アフリカから受け入れ、いまになつて苦しんでいる。どう苦しんでいるのか。ベテラン記者が語った。「移民の最大の問題点は、いったん受け入れたら戻せない、ということだ。スイスのように期限つきで外国人労働者を導入しているケースもあるが、移民1世は、まだ忠誠心や恩義を感じているが、2世、3世になるとこれが失われる。一般社会と隔絶したコミュニティーができる。そこでは経済的・社会的な格差が深刻。若者の失業率が45%にも達し、犯罪の温床となる。フランスからイスラム教スンニ派過激組織「イスラム国」に入る若者が出てくる背景だ」

「平成の大合併の愚行から何も学んでいない。逆に地域を強化することで再び成長する。日本の市町村は1719まで減った。フランスは3万6000、米国は8万4000ある。愛郷心こそが愛国心だ」
では田中氏の処方箋は。

「量の維持から質の充実に。フランスやイタリアは日本の半分ほどの人口で十分、大国だ。人口6000万人台の規模で持続可能な日本を目指すべきだ。日露戦争当時は4700万人だった」
(政治評論家)

「移民年20万人で国柄変わる」

「移民の最大の問題点は、いったん受け入れたら戻せない、ということだ。スイスのように期限つきで外国人労働者を導入しているケースもあるが、移民1世は、まだ忠誠心や恩義を感じているが、2世、3世になるとこれが失われる。一般社会と隔絶したコミュニティーができる。そこでは経済的・社会的な格差が深刻。若者の失業率が45%にも達し、犯罪の温床となる。フランスからイスラム教スンニ派過激組織「イスラム国」に入る若者が出てくる背景だ」

「移民の最大の問題点は、いったん受け入れたら戻せない、ということだ。スイスのように期限つきで外国人労働者を導入しているケースもあるが、移民1世は、まだ忠誠心や恩義を感じているが、2世、3世になるとこれが失われる。一般社会と隔絶したコミュニティーができる。そこでは経済的・社会的な格差が深刻。若者の失業率が45%にも達し、犯罪の温床となる。フランスからイスラム教スンニ派過激組織「イスラム国」に入る若者が出てくる背景だ」